

距離 約5.6km

時間 約75分

消費カロリー 約343kcal

コース距離

スタート ⇨ ③ ⇨ ⑤ ⇨ ゴール  
2.0km 4.0km 5.6km

## コースの特徴

千年の歴史が息づく神仏習合の地「六郷満山」・世界農業遺産の郷「田染荘」を巡るコース。田染地区は、昔ながらの田園風景が輝きを失うことなく、今もなお色濃く残されている田染荘や六郷満山の中でも最大の規模で、隆盛を誇る大寺院だったといわれる伝乗寺のお堂の一つの真木大堂など、豊後高田市の代表的な観光スポットが多い場所です。また、6月には3000株の花菖蒲とアジサイが見られる間戸菖蒲園があるなど、この田染地区は、季節によって様々な景色が見られる場所となっています。距離はさほど長くありませんが、見どころが多いので、時間をかけて歩きたい場所です。



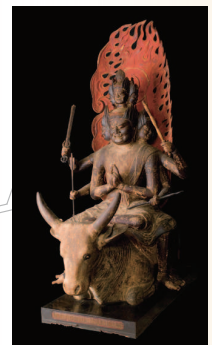
## ① 菖蒲園

間戸菖蒲園には花菖蒲が3000株とアジサイが植えられています。6月ごろに見ごろを迎え美しい菖蒲と紫陽花を見ることができます。



## ② 穴井戸観音

洞窟(穴井戸)の奥に観音様が祀られています。天井からはどんな日照りの時でも雫がしたたっており観音様は別名「濡れ観音」と呼ばれるほどこの雫によりしっとりと濡れています。その昔、仁聞菩薩が六郷満山の峯々を修行して歩いた時にこの雫で喉を潤し、疲れを癒したと言われており、「仁聞の隠れ水」と呼ばれ、頭につけると知恵が付き、飲むと子宝に恵まれると言い伝えられています。



## ⑤ 真木大堂

真木大堂は、六郷満山本山本寺馬城山伝乗寺の堂宇(建物)の一つで建立されたと伝えられています。収蔵庫に収められている9体の仏像は、昭和25年に国の重要文化財として指定されました。本尊は、東西南北に邪鬼を制する四天王を従えた阿弥陀如来坐像(像高約2.5m)です。藤原時代の作で、その表情は慈愛に満ちています。(写真は 大威徳明王)



## ③ 田染荘

宇佐神宮の根本神領として栄えた「田染荘」。743年より開拓が始まったとされ、今も当時と変らぬ田園風景の中でお米作りが行われています。国東半島は2013年に「クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環」として「世界農業遺産」に認定されました。田染荘はこの農林水産循環の象徴的な場所として多くの方が訪れる場所になっています。



## ④ 朝日・夕日観音

奇岩・奇峰からなる間戸耶馬とも呼ばれる間戸の岩峰の頂に、朝日観音・夕日観音が祀られています。朝日観音・夕日観音の名前の言われは、朝日観音からは朝日が見え、夕日観音からは夕日が見えるからだと言われています。



【出発地住所】田染公民館(豊後高田市田染相原810-1)

【駐車場情報】有(田染公民館、荘園ほたる、真木大堂)

【トイレ情報】有(田染公民館、荘園ほたる、真木大堂)